

# 広報伊方町

発行所 伊方町 豊後町西字和郎伊方町通 千796-03 電話 伊方局8-0211

編集 務課 豊後町 豊後町 豊後町 豊後町

印刷 豊後町 豊後町 豊後町 豊後町

八幡浜市校地 22-0144

## 今月の紙面

- 二面……ゴミ焼却場が悲鳴 健康の窓
- 三面……ポンプ操法大会 民話と伝説 お楽しみ演芸会
- 四……土地取引の前に 歳時記「不快指数」

# サルビアを公共施設に

伊方小学校では、八月十一日に校区内の公民館などの公共施設に「サルビアの花」三百本を配付。夏休み中は交替で水やりを続け、地域の人に喜ばれています。



役場玄関前でサルビアに水をやる伊方小の皆さん。1日2回、交替で行っています。

花の配付は、地域に尽くす子供の活動の一つとして伊方小学校、岡野一校長・生徒三十九人が六年前から行っているものです。

今回のサルビアは、赤い花に代表され、明るくたくましい野性的な花。五月に種をまいて生徒と先生が丹精込めて育てたもので、約七百本あまりが美しい赤や白の花をつけ

ました。

学校では、用意した五十個あまりのプランターと呼ばれる鉢に四・五本ずつ植え替えをして、二十あまりの施設へ配って回りました。

美しい花を長く楽しむためには水やりが最も大切。夏の暑い時期ですと、一日水やりをしないと葉は巻いて垂れ下がり、仮死状態になってしまいます。このため、水やりなどの管理は伊方小学校の生徒が地区単位に当番を決めて担当し、一日最低一回は水やりをすることにしました。

小学校が大切に育てているサルビアの花、町内の皆さん

も見かけたときは協力ください。このサルビアの花、手入れさえよければ十月中旬ごろまで楽しめるようです。

また、伊方小学校では年に三回鉢植えを配付しています。春は「ハンジ」、夏は「サルビア」、秋から冬にかけては「葉ほたん」の三種類です。いずれも、育てやすい長い間楽しめるからたそです。

同校の校庭には、至るところに花壇が設けられ、美しい花が年中見られます。すでに十一月には配付予定の「葉ほたん」の種まきも終了したと

## 防災の日

九月一日は「防災の日」。世界の地震の約二割が、日本列島とその周辺で起きているという事実をご存知ですか。

言うまでもなく、わが国は世界有数の地震多発国。大正十二年の関東大震災以来、現在までマグニチュード七以上を観測した地震は百二十回あまりも発生しています。

つい先日(八月七日前四時六分ごろ、宮崎県沖の日向灘を震源に発生した地震が、最大震度四(中震)で地震のエネルギーを示すマグニチュードは七・二でした。

宇和島では震度四を記録。本町あたりでも震度三以上といわれます。したがって、先日のような地震が日本列島をしばしばグラつかせているといふこと。

地震に限らず、台風・豪雨などの災害から身を守るためには、わたしたち一人一人が防災に対する正しい知識と心構えを持つことが大切です。

## 3秒のゆとり

シートベルトは、車を運転するときの「命綱」。しかし、着用率はまだまだ低く、ドライバー十人中三人にも満たない、という嘆かわしい実情です。

そして、「自動車乗車中の死者の九八パーセントが、シートベルトをしていなかった(警察庁調査)」という見逃せない結果も報告されています。

▼激突時のショックで起こる車外放出を防ぎます。

▼転落時のショックで気絶したり負傷したりすることを防ぎ、自力で脱出しやすくなります。

## きょうから実践

このように、交通事故の際にあなたの何より有効な「命綱」となってくれるシートベルトの着用は、いま運転操作のひとつなのだということを、ぜひ肝に銘じてください。



## なぜ「めんどくさい」

## 命を救うシートベルト

シートベルトは、車を運転するときの「命綱」。

「めんどくさい」といわれています。それが二〇キロのスピード、そのくらいなら腕や足で支えられるという人がいるかもしれせん。しかし、腕や足で支えられる力はせいぜい体重二倍から三倍で、命を守りきれぬものはありません。

そんなときに、あなたの命を守るために威力を発揮するのがシートベルトです。

▼シートベルトをする、運転姿勢が正しく保たれ運転疲労が軽減されます。また、安全意識も向上するなど事故を予防する効果が生じます。

▼衝突事故に遭った場合、フロントガラスや車内の突起物に頭部や胸部を強打することを防ぎます。頭蓋骨骨折や脳挫傷などによる死亡は、半分以上におさえられるといわれます。

# ゴミ焼却場は泣いています

## ひどい野菜や残飯の混入

紙くずやビニール袋、野菜くずに残飯など毎日たくさんのごみが、皆さんの家庭から出されます。その量は一日平均にして四・六トンもありです。

ほとんどの人は決まりを守って出していますが、ときに、いいかげんな人がいて困っています。特に夏期には、スイカ・生野菜など水分の多いものの混入が見られ、焼却場は毎日泣いています。

今月は、このゴミ問題についてスポットを当ててみました。

本町では、昭和四十六年七月一日から町内全域を対象にゴミ収集業務を開始。五十七年十一月からは町内の業者に委託して収集業務を行っています。

収集は、地区ごとの計画表に基づき燃えるものが毎日(年末年始などの特定日は休み)、燃えないものは月一回行っています。

燃えるゴミの量は一日に約四・六トン、年に一千三百八十五トンにもなり、昨年一年間に町の収集車がゴミを満載して運んだ回数は六百回以上に

なっています。

宿名時にある本町のゴミ焼却場の処理能力が一日五トンですから、能力限度に近いゴミの量が毎日運ばれ、焼却場はフル回転しているというこ

## マナーと消エネ 忘れかけていませんか

しかし、このゴミの収集処理はタダではありません。皆さんの家庭から毎日出されるゴミを処理するお金は、昨年度の費用からみまると人件費や燃料費を含め一日約六十万円、一年間に一千八百万円かかりました。

また、現在の施設は規模が

右欄に五十二年からのゴミ収集量推移表を作ってみました。これによりますと、本町のゴミ収集量は消エネ運動の影響を思われる五十五年と五十六年にやや減ったものの、少しずつ増えています。

年度	燃える	燃えない
52	1,185	352
53	1,284	429
54	1,304	451
55	1,245	429
56	1,183	397
57	1,310	413
58	1,385	459

### 必ず守って

次のことを守りましょう。

- △決められた曜日・場所・または時間以外は出さないこと
- △飛び散らないよう適当な袋に入れること
- △残飯類は水分を切つて袋の口をよくしげること
- △燃えないもの(カン・ビン類など)は不燃物収集日に出すこと
- △農地還元できるものは還元すること

## ゴミ処理問題 ご意見を

「燃えるゴミ、燃えないゴミの混入で困っています。夏は特にひどいですね」ということでした。

マナーも消エネ運動も、忘れかけてはいませんか。わたしたちが日常の生活で消費しているものは、そのほとんどがお金を直接出して購入しているものばかりです。それを見ます捨てて、またお金をかけて灰にする……何かもつたいない気はしませんでしょうか。

余ったから捨てる、もういらないから捨てる前に、有効な使いかたを考え直してみたいかがでしょうか。住みよい生活環境をつくるために。

## 早めに し尿汲み取り

皆さんの家庭から出るし尿は、指定の業者が汲み取りを行い、保内町の八西衛生事務組合のし尿処理場へ運んで計画処理されます。

ところが、お盆や年末年始時期にはし尿の汲み取りや処理が集中し、業者と処理場は

### 健康の窓

健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

人間の脳は神経細胞と血管の集りです。ボケは、この細胞と血管の老化と特に深いかわりがあるといわれています。老化を防ぐためにも、十分な栄養とバランスのとれた栄養素を取り入れることです。

規則正しい生活、十分な睡眠、そして適切な食事、軽い運動や入浴などが役立ちます。サラリーマンとは違い、定年のない農業などは健康で長生きするために最高の職業ですが、過労はよくありません。

ではありません。手足を動かすことも頭を使うことにもなるのです。

## 老人ボケ

日本人の平均寿命は世界一になりました。しかし、あまり喜んではばかりもありません。

ある講演会で老人医学の大家が「オリーブピックに、こんな種目があると日本の老人は間違いなく金メダルというものがあります。それは何でしょうか」と問いかけてました。すかさず「お年玉」などの得意とするものを言いました。正解は「寝たきり老人・ボケ老人・老人の自殺」だそうです。

年を取っても、寝たきりやボケ老人にならないかと思っていますが、はたして、そうならないための努力はしているでしょうか。

## 予防のポイント

予防のポイントは、適度に頭を使い、バランスのとれた栄養を取ることです。適度に頭を使うということは、精神的な活動ばかり



毎日運ばれてくるゴミの山。野菜くずや残飯が目につく。





歳時記

不快指数

「もしもし、お天気相談所ですか。いまの不快指数はいくつでしょう」

「はい、午前9時現在62です」

62なら快適です。このときの気温は16.5度、湿度78パーセント、まだ暑くなる前のことです。

暑さというのは、ほとんど気温の高さで決まりますが、実際に体で感じる暑さは、湿度や風の影響で必ずしも気温とおりではありません。これを体感温度といいますが、この体感温度の考え方をとり入れたのが不快指数で、気温と湿度によって生活上不快をおおえる度合いを数値で表したものです。

不快指数は、天気予報とは違っており、定期的に発表されるわけではありませんが、気象庁はじめ各気象台ではデータを保持して、問い合わせれば教えてくれます。

どのくらいの指数で不快を感じるかというと、70を超えるとやや不快を感じはじめ、75では半数が不快、80を超すとほぼ全員が不快と感じるとされています。

ちなみに、東京の夏はというと、ほとんど毎日が80を越し、だれもが過ごしにくいと感じます。

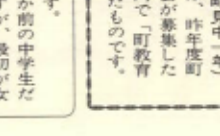
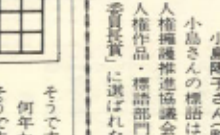
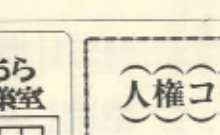
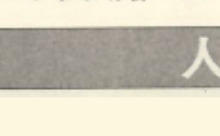
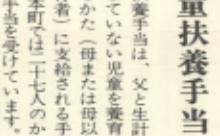
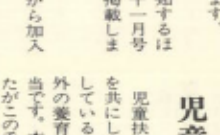
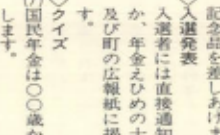
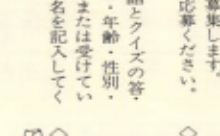
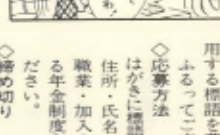
ただし、最近ではエアコンの普及などの影響もあって、快・不快の感じ方もかなり変わってきています。

例えば、クーラーのきいている快適な部屋からいったん外に出ると、外感より不快を感じたり、不快を感じたりとを繰り返して、体のコンディションを崩すこともあります。



さわかき君

西村 泉



当事者

土地取引きの前に

一町歩以上は届出が必要

農知事に届出をしなければなりません。これは、昭和四十九年十一月に施行された国土利用計画法という法律によって届出が義務づけられているもので、届出の期日は契約をしようとする日の六週間前までとなります。

一定面積以上の土地の売買、交換、代物弁済(例えば、金銭の代わりに土地で支払いをする場合)などのときは、あらかじめ、その土地が所在する市町村を經由して、都道府

届出面積

▽一万平方メートル(一町歩)

国民年金の標語募集

10月6日までに「はがき」で

国民年金は、厚生年金とともに、わが国の年金制度の大きな柱となっています。この国民年金制度普及のために使用する標語を募集します。

ふるって応募ください。応募方法は、はがきに標語とクイズの答え、住所・氏名・年齢・性別・職業・加入または受けている年金制度名を記入してください。

昭和五十九年十月六日(土)、当日消印有効

特選一、入選四、佳作五

記念品を差しあげます。

入選者には直接通知するほか、年金えひめの十一月号及び町の広報紙に掲載します。

クイズ

国民年金は〇〇歳から加入します。

また、特別児童扶養手当は障害児を養育するかた(父か母)または父母以外の養育者に支給される手当で、本町の該当は二件です。

この二つの手当の支給は四月、八月、十一月の年三回となっており、該当のかたは八月に支給を受けるときに、現況届を提出しなければなりません。特別児童扶養手当も同様です。

提出期限は九月十日までとなっており、まだ提出されていないかたは早めに出場係課まで提出してください。

えんむすび

昭和59年6月1日

6月30日

氏名

本籍

おくりやみ

昭和59年6月1日

6月30日

氏名

本籍

ふれあいを

伊方町

小島陽子さん(町見中一年)

小島さんの標語は、昨年度町人権擁護推進協議会が募集した人権作品・標語部門で「町教育委員長」に選ばれたものです。

三番目が女に男がはさまれているから「もて」だそう。

むつかしい漢字も、こ

うして遊びながら覚えるのも一つの方法として、その著者はまとめて

ていきました。

さて、編集室で考えた

「類」(類)は今や夏の

の到来を告げる高校野球

今年も甲子園が異常に

盛況です。

何年か前の中学生だ

そうですが、最初が女

に上下だから、エレベ

タガール。二番目が女

に飛ぶで「おてんば」

三番目が女に男がはさま

れているから「もて」

だそう。

むつかしい漢字も、こ

うして遊びながら覚える

のも一つの方法として、

その著者はまとめて

ていきました。

さて、編集室で考えた

「類」(類)は今や夏の

の到来を告げる高校野球

今年も甲子園が異常に

盛況です。

何年か前の中学生だ

そうですが、最初が女

に上下だから、エレベ

人

昭和59年7月1日現在  
世帯数2,581戸(+2戸)

8,612人 | 男4,149人(+7人)  
(+4人) | 女4,463人(-3人)

お誕生おめでとう  
お子さんに  
育ってください  
昭和59年6月1日  
6月30日



こちら編集室

「等」(類)「類」  
ちょっと見かけない字  
です。皆さんだったら  
どう読みますか。  
三つとも、ある雑誌  
に載っていた「漢字遊  
び」からピックアップ  
したものです。いずれ  
も漢和事典などにはな  
く、漢字の構成原理を  
説明できるものという  
ことで、中学生に宿題  
として作らせたものだ  
常に沸きました。

人権コーナー

ふれあいを  
広げてや呼ぶ  
伊方町  
小島陽子さん(町見中一年)  
小島さんの標語は、昨年度町  
人権擁護推進協議会が募集した  
人権作品・標語部門で「町教育  
委員長」に選ばれたものです。